

安全に運転をするため必要なことは・・・

「いってらっしゃい！車に気をつけてね！」

誰でも一度は耳にしたり口にしたことのある言葉ではないかと思いますが、この一言でどのくらいの人が交通社会の場で命を落とすことなく生活を送られているのでしょうか？人は言葉でどんなに注意喚起を促されても、なかなか高い注意力を維持できるものではないようです。それは何故でしょうか？人は言葉で説得されても行動の変容はあまりなく、自分自身が納得して自分の意志が決定した時に初めて行動を起こすものだからです。

単に問題を指摘するだけでは解決には至りませんので、私たち教官は、研修生の皆さん自身に自ら運転における問題を発見していただき、その問題を解決するために自ら行動していただけるよう「受講生の自発性」を引き出す教育を大切にしております。

ところでみなさんは、ご自分の運転の問題点に気づいていますか？これに気づけば運転は危険に近づきにくくなります。家を出るときに「車に気をつけてね！」耳に残る大切なありがたい言葉ではありますが、これにうなづくだけでなく、自らの運転の問題を自ら発見し、自ら納得して安全な運転行動を起こせるようにすることが大切です。最後になりますが、当自動車安全運転センター安全運転中央研修所の安全運転研修を通じて、みなさん気づいてみるのはいかがでしょうか？



実技教官

小新井 尚